

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	ゼミナールⅢ (Seminar Ⅲ)		
ナンバリングコード	E31203	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 応用レベル ゼミナール
単位数	4	配当学年 / 開講期	3年 / 通年
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E002631	クラス名	小久保ゼミ
担当教員名	小久保 雄介		
履修上の注意、履修条件	商品企画の現場では、自ら高いアンテナを張り、様々なことに対して興味を持って取り組む姿勢が必要になります。受け身にならず、ぜひ自分から考え、行動するようにしてください。また、授業内で分析を行ったりまとめ作業などを行いますのでPCを準備しておいてください。チームで活動しますので、チームのメンバーでコミュニケーションをしっかりと取り丸となってプロジェクトを楽しみながら進め学生らしい企画を行うこと。他人と協調できない方は適しません。		
教科書	著者:神田範明 書籍名:『神田教授の商品企画ゼミナール』 出版社:日科技連出版 発行年:2013 価格:¥3,240		
参考文献及び指定図書	授業中に別途指示します。また、関連分野の入門書などを自分で見つけて読むのもおすすめです。		
関連科目	マーケティング関連科目、企業戦略論、統計学関連科目		

○基本情報	
授業の目的	2年後期では商品企画七つ道具の定性調査について学習しました。3年生の前期では今までに作成した商品アイデアを検証する段階になります。アンケート調査、分析や最適なコンセプトをどのように導出する方法についての知識を身につけ、演習を通じて自分で『使える』段階まで引き上げていきます。後期は商品企画から発展しマーケティング・リサーチについて学習します。詳細はリサーチの計画、実行、分析、それらを活用したマーケティング施策の考案を行います。さらに後半には卒業論文に向けて論文の読み方、書き方などを学習し、次年度へとつなげていきます。また、必要に応じてビジネスコンテストへの出場などを計画しています。
授業の概要	授業は輪読形式で行います。受講生は毎回授業内容に当たる部分を予め読んでおき、担当者は説明用のレジュメを作成してもらいます。授業では担当者がレジュメをもとに解説を行い質疑応答、講評などを行った後に議論を行います。この授業と並行して前期は調査の設計、分析などの課題を課していきます。後期はグループで気になったテーマを検証するための研究を実施します。
授業の運営方法	(1) 授業の形式 「講義形式」 (2) 複数担当の場合の方式 「該当しない」 (3) アクティブ・ラーニング 「グループワーク」
地域志向科目	該当しない
実務経験のある教員による授業科目	なし

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	商品企画、マーケティング・リサーチについて興味関心を持ち、主体的にチームで行動する。		15点	5点
【知識・理解】	マーケティング・リサーチについての基礎的な知識がある。	10点	10点	
【技能・表現・コミュニケーション】	調査結果を報告書にし、分析結果をプレゼンできる。		10点	10点
【思考・判断・創造】	調査の作成、分析結果を読み解くことができる。	10点	20点	10点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
関心・意欲・態度:	毎回の授業への出席、コメントペーパーの作成(15点)、輪読での発表(5点)
知識・理解:	前後期に実施する確認テストの基礎知識点(10点)、前後期の提出物(10点)
技能・表現・コミュニケーション:	調査報告のレポートの得点(10点)、調査報告プレゼン(10点)
思考・判断・創造:	前後期に実施する確認テストの応用点(10点)、各種提出物(20点)前後期のプレゼン・レポートの得点(10点)
課題やレポートについては返却時にフィードバックを実施する。評価の方法については授業内で基準を提示する。なお、プレゼンテーションの評価は発表者以外の学生の採点+担当の採点で行う予定である。	

○その他	
なお、長期休暇中には就職活動に向けての課題などを実施する予定です。授業時間外での活動も多くなります。班員との連絡を密にとって活動してください。また、PCは必携です。	

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	ゼミナールⅢ (Seminar Ⅲ) 小久保 雄介	授業コード	E002631
学修内容				
1. オリエンテーション 前期の復習 後期のゼミナール内容と前期の復習を行う。後期の内容の概略として事例紹介を行う。				
予習	前期の内容の復習を行う。			(約1.0h)
復習	後期のプレゼンの方針を考える。			(約1.0h)
2. (講義パート)アンケート調査の方法、調査票の設計 アンケート調査の作成、実施についての講義を行う。その後、発表のフィードバック、議論を行う。その後、各自で好きなテーマのアンケートを作成する。				
予習	教科書の6章の該当ページ(授業内で指示する)を読む。			(約1.0h)
復習	各自で好きなテーマのアンケートを作成する。			(約3.0h)
3. (実習パート)調査票の設計 前週の授業で作成したアンケートに対してのフィードバックを行った後に各チームでテーマのアンケートを作成する。				
予習	アンケートの一般設問項目を考える。			(約2.0h)
復習	自分たちのテーマのアンケートを完成させる。			(約3.0h)
4. (講義パート)PCによる集計・分析と解釈 スネークプロット、CSポートフォリオについての講義を行う。その後、発表のフィードバック、議論を行う。その後、各自で好きなテーマのアンケートを作成する。				
予習	教科書の6章の該当ページ(授業内で指示する)を読む。			(約1.0h)
復習	自身のチームのアンケートを回収する。			(約3.0h)
5. (実習パート)PCによる集計・分析と解釈 サンプルデータにて分析の方法を確認した後にチームでデータを分析用に変換し、分析を行う。				
予習	前週の授業内容を復習する。			(約1.0h)
復習	自身のチームの分析結果をもとに解釈を行う。			(約2.0h)
6. (講義パート)ポジショニング分析 ポジショニング分析についての講義を行う。その後、発表のフィードバック、議論を行う。				
予習	教科書の7章の該当ページ(授業内で指示する)を読む。			(約1.0h)
復習	前週までの内容をプレゼン資料にまとめる。			(約3.0h)
7. (実習パート)ポジショニング分析 PCによる集計・分析と解釈 サンプルデータにて分析の方法を確認した後にチームでデータを分析用に変換し、分析を行う。				
予習	前週の授業内容を復習する。			(約1.0h)
復習	自身のチームの分析結果をもとに解釈を行う。			(約2.0h)
8. (講義パート)層別分析の方法と応用 アンケートデータの分析の応用編で層別分析について学習する。わかりやすい層別からクラスター分析を用いた層別までを解説する。				
予習	自身のチームのデータに層別データを付与する。			(約2.0h)
復習	層別分析を実際に行い解釈を行う。			(約2.0h)

○授業計画	科目名 担当教員	ゼミナールⅢ (Seminar Ⅲ) 小久保 雄介	授業コード	E002631
学修内容				
9. (講義パート)コンジョイント分析 直交表による計画 コンジョイント分析における属性・水準の作成、実施についての講義を行う。その後、発表のフィードバック、議論を行う。その後、直交表の使い方についての実習を行う。				
予習	教科書の8章の該当ページ(授業内で指示する)を読む。			(約1.0h)
復習	自身のチームの属性・水準を考える。			(約2.0h)
10. (実習パート)コンジョイント分析アンケートの作成 各チームで属性・水準を考え、直交表に割り付けた後にサンプルを作成しアンケートを作成する。				
予習	前週の授業内容を復習する。			(約1.0h)
復習	コンジョイント分析アンケートを作成・実施を行う。			(約3.0h)
11. (講義パート)コンジョイント分析 結果の解釈 (実習パート)コンジョイント分析 PCによる集計・分析と解 コンジョイント分析の分析についての講義を行う。その後、発表のフィードバック、議論を行う。その後、サンプルデータにて分析の方法を確認した後にチームでデータを分析用に変換し、分析を行う。				
予習	教科書の8章の該当ページ(授業内で指示する)を読む。			(約1.0h)
復習	自身のチームの分析結果をもとに解釈を行う。			(約3.0h)
12. (講義パート)コンジョイント分析 層別分析の方法と応用、品質表 コンジョイント分析の応用編として層別分析の事例を紹介する。更に品質表についての講義を行う。				
予習	教科書の9章を読む。			(約1.0h)
復習	可能であれば層別コンジョイント分析を行う。商品の最終コンセプトを確定させる。			(約3.0h)
13. 総合事例紹介、(実習パート)プレゼン作成 1年間学習してきた内容をつなげることによってどのような商品が作られたかの事例を紹介する。その後各チームで1年間の学習内容のまとめのプレゼンテーションの作成を行う。				
予習	教科書の10章を読む。			(約2.0h)
復習	発表のプレゼンを作成する。			(約3.0h)
14. プレゼンテーション 各チームごとに1年間の活動のまとめとしてのプレゼンテーションを行う。				
予習	発表のプレゼンの練習をする。			(約3.0h)
復習	他班のプレゼンのフィードバックを行う。			(約1.0h)
15. プレゼンテーション、3年前期のまとめ 各チームごとに1年間のまとめとしてのプレゼンテーションを行う。また、半期間の学習の確認の為に簡単な試験を行う。				
予習	1年間の学習を振り返る			(約2.0h)
復習	他班のプレゼンのフィードバックを行う。			(約1.0h)
16.				
予習				
復習				

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名	ゼミナールⅢ (Seminar Ⅲ)	授業コード	E002631
	担当教員	小久保 雄介		
学修内容				
17. イントロダクション 後期の学習内容についての共有を行い、3年後期～4年生でのゼミの活動の概要を説明する。また、マーケティングリサーチについてについての基本的な内容について学習を行う				
予習	前期の反省点について振り返りを行う。		(約2.0h)	
復習	グループ研究の方向性を確定する。		(約2.0h)	
18. マーケティング・リサーチによる課題の解決法、調査計画の立て方 マーケティングにおける課題やマーケティングリサーチの定義などを理解する。その後実際どのように調査計画を立てるかについて学習を行う。				
予習	自分たちのチームで調査したい内容を決める。		(約2.0h)	
復習	調査内容についてどのようなリサーチを行えば良いのかについて計画を立てる。		(約2.0h)	
19. サンプルサイズの決め方、調査票の設計について サンプルサイズをどのように決めるかの考え方を様々なアプローチで理解する。また、調査票を作成する際の注意事項の復習を行いながらグループのテーマを達成するための調査票の作成を考える。				
予習	教科書の指定範囲を読む。		(約2.0h)	
復習	自分たちの設定したテーマについて調査票に載せるべき項目を考える		(約4.0h)	
20. 母集団、標本、サンプリング アンケートなどを実施する際には母集団と標本についての理解が必要になります。まずは母集団とは、標本とはを理解してもらった後に誤差について、標本抽出の方法について学習します。				
予習	教科書の指定範囲を読む。		(約2.0h)	
復習	サンプリング方法、サンプルサイズを考えた上で調査計画の修正を行う。		(約2.0h)	
21. マーケティング・リサーチの結果分析の手法 リサーチを終えた後に集計を実施しますが、どのように集計をするかの手順について学習をします。その後簡単な集計の方法をPCを用いて実施します。				
予習	教科書の指定範囲を読む。		(約2.0h)	
復習	授業で行った内容をもとに課題用データを分析してみる。		(約2.0h)	
22. 仮説検定① (担当が実施します) 報告書で「差がある」などと記載する場合に客観的なエビデンスに基づかなければなりません。データの場合は仮説検定を実施することで明確になります。第1回目では仮説検定についての基本的な考え方、手順について学習します。				
予習	事前配布資料を読む。		(約2.0h)	
復習	今回の内容の復習を行う。		(約2.0h)	
23. 仮説検定② (担当が実施します) 前回の基本的な考え方をもとに実データで仮説検定を行っていきます。その時の結果の読み取り方、判定方法などを学習します。				
予習	事前配布資料を読む		(約2.0h)	
復習	授業で行った内容をもとに分析用データで実際に検定を行ってみる。		(約2.0h)	
24. インターネット調査・実習 インターネット調査の概要について学習する。インターネット調査の利点や欠点、使いこなす上で注意すべきことなどを学習し、将来の展望などについて概観する。また、実習では実際にGoogleFormを使用しアンケートの設計について学習する。				
予習	現時点での調査票を作成する。		(約2.0h)	
復習	調査票をGoogleFromに落とし込み、実査を行ってみる		(約4.0h)	

○授業計画	科目名	ゼミナールⅢ (Seminar Ⅲ)	授業コード	E002631
	担当教員	小久保 雄介		
学修内容				
25. 多変量解析① イン트로ダクション、重回帰分析、数量化Ⅰ類 (担当が実施します) 今までは多くても2変数までの分析でした。ここからは多くの変数を扱う多変量解析について学習します。多変量解析について概観を理解した後に予測モデルを作成する手法について解説した後に実際に分析を行います。				
予習	教科書の指定範囲を読む。		(約2.0h)	
復習	授業で行った内容をもとに課題用データを分析してみる。		(約2.0h)	
26. 多変量解析② 因子分析、主成分分析 (担当が実施します) 今回は変数をまとめる分析手法について学習を行います。簡単に理論を学習した後に実際にPCを用いて分析を行います。				
予習	教科書の指定範囲を読む。		(約2.0h)	
復習	授業で行った内容をもとに課題用データを分析してみる。		(約2.0h)	
27. 多変量解析③ 数量化Ⅲ類 (担当が実施します) 変数間の関係性を見る分析手法について学習を行います。簡単に理論を学習した後に実際にPCを用いて分析を行います。				
予習	教科書の指定範囲を読む。		(約2.0h)	
復習	授業で行った内容をもとに課題用データを分析してみる。		(約2.0h)	
28. 多変量解析④ クラスター分析 卒論に向けて① (担当が実施します) 回答の似ている回答者をまとめる分析手法について学習を行います。簡単に理論を学習した後に実際にPCを用いて分析を行います。また、卒論についてはテーマをどのように決めるかワークを行います				
予習	教科書の指定範囲を読む。		(約2.0h)	
復習	授業で行った内容をもとに課題用データを分析してみる。 卒論のテーマ決めワークを行う		(約3.0h)	
29. 後期グループ研究発表会に向けて①卒論に向けて② グループ研究発表会に向けての作業を行います。卒論に向けてはリサーチクエスションの導き方についてのワークを行います。				
予習	グループ研究発表会に向けての作業を行う。		(約2.0h)	
復習	グループ研究発表会に向けての作業を行う。 卒論のリサーチクエスションを探すワークを行う		(約3.0h)	
30. 後期グループ研究発表会に向けて③卒論に向けて③ グループ研究発表会に向けての作業を行います。卒論に向けては情報の集め方、先行研究の読み方について授業を行います。				
予習	グループ研究発表会に向けての作業を行う。		(約2.0h)	
復習	グループ研究発表会に向けての作業を行う。先行研究の論文要約を行ってみる。		(約1.0h)	
31. 後期グループ研究発表会 第31回ではグループで行った研究についての半期の発表を行う。				
予習	グループ研究発表会の準備(特に発表練習)を行う。		(約2.0h)	
復習	グループ研究の振り返りをもとに修正を行う。		(約1.0h)	
32.				
予習				
復習				